

埼玉の食品を世界へ！コンソーシアム

複数品目

基本情報

対象国	シンガポール・フランス・イギリス	輸出額	8,580万円（2024年実績）	加盟者数	8社
主な販売先	外食・小売	活動地域	埼玉県	品目数	複数
希望スキーム	間接輸出	備考	-		

埼玉県の食品を世界へ広めるため、複数事業者が連携し、共同商品開発と輸出拡大を推進

埼玉県内の複数の事業者が団体となり、共同で輸出の取組を行うことで、埼玉県食品の認知度向上と販売機会の創出を目指す。ターゲット国のニーズを把握し、各社の商品の特色を生かした商品開発を行う。

団体概要

所在地 埼玉県本庄市

設立年 2023年

事業内容 国内外の展示会への出展・イベントの実施・プロモーション事業・共同での物流ルートの構築など

認証取得 (コンソーシアム内に認証取得しているメンバー有)

生産規模 -



取組の経緯 / 概要

- ・中小規模の事業者が個別に海外を目指すことはノウハウ・労働力・資金面等に制約があるため、県内の複数の事業者が団体となり、共同で輸出の取組を行うことで、共同取組によるメリットを生み出し、埼玉県食品の認知度向上と販売機会の創出を図る。
- ・インバウンドの回復に伴い、国内でのインバウンド向け施策と海外での輸出施策を同時に実施し、さらなる海外販路拡大を目指す。
- ・輸出対象国は、シンガポール・フランス・イギリスであり、現地バイヤー招聘を通じて市場ニーズを把握し、商品開発を行う。

取組の成果

- ・輸出額：約4,109万円（2023年）→8,580万円（2024年実績）
- ・商談：バイヤー招聘3人（シンガポール、フランス、イギリス）
- ・商談会（各国1社）各国バイヤーとメンバー全社で実施

取組のポイント

現地バイヤーと直接商談してニーズを把握し、複数の事業者による共同取組で輸出の拡大を目指す

輸出を進める上で抱えていた課題

TASK

課題
1

中小規模の事業者が個別に海外を目指すことは難しい

TASK

課題
2

輸出国ごとの市場ニーズに応じた戦略立案

TASK

課題
3

輸出国ごとに異なる食品輸入規制への戦略的対応が未策定

輸出成功のポイント

複数の事業者による共同取組で進める輸出展開

複数の事業者が共同で輸出取組を行い、埼玉県食品の認知度向上と販売機会の創出を図る

バイヤー招聘を踏まえた市場ニーズ把握

輸出国における消費者ニーズの把握や輸出戦略の確立を目的としたバイヤー招聘を実施

規制状況を踏まえた市場選定と段階的アプローチ

規制が比較的緩やかなシンガポールを短期、厳しいフランス・イギリスを長期目標とし、規制状況に応じた段階的アプローチを推進

サプライチェーン別取組

埼玉発×現地ニーズに沿った商品開発

- ・ 複数品目の事業者が団体である特徴を生かし各社の品目をコラボレーションし商品開発
- ・ 現地ニーズに合った、メイドイン埼玉の商品開発を実施

共同での物流ルート構築

- ・ 複数の事業者にて輸出取組を実施することで効率的な物流ルートを構築
- ・ 実績を踏まえた、輸出ノウハウの情報交換と横展開

現地バイヤー招聘・広報物作成による認知度向上

- ・ 現地バイヤーを招聘し、商品の魅力を直接的に訴求
- ・ 広報物を作成し商品の特徴を分かりやすく伝え、商品への理解と認知度向上を図る

商品選定・開発

流通

販売

今後の輸出拡大に向けて

今後も取組を継続することで、埼玉県のブランディングを進め、魅力の発信とともに輸出拡大に繋げる。複数の事業者が連携することで、時間・コストを削減し、新たなニーズ創出も可能となる。本事業で得た成果を生かし、輸出に取組む、または関心のある事業者や関係者の参画を促し、活動範囲を広げ、輸出金額のさらなる拡大を目指す。展示会への出展も視野に入っており、ターゲット国での直接的な商品のPRを計画している。